

2018 年 12 月

雪嶺会会長 殿

北薬会会長 殿

丁酉会会長 殿

北海道科学大学工学部情報工学科 3 年

模型部部长 白鳥裕一

模型部活動報告書

頂いた助成金 5 万円は北海道モデラーズエキシビション(HME)に出品する作品を作るための費用として使用させていただきました。

北海道モデラーズエキシビションとは、1 年に 1 度サッポロファクトリーにて北海道内外からモデラーが一堂に会する北海道最大の模型展示会です。毎年、学生サークルから社会人サークルまで 30 以上の団体と 20 人以上の個人が参加しています。毎年 7 月末に開催でしたが、開催場所の都合により今年は 10 月の頭に開催となりました。

北海道科学大学模型部では、去年一昨年と 2 年連続北海道モデラーズエキシビションにて独特賞を頂いており、今年は 3 年連続がかかった重要な年でした。そのため、夏頃から部活内でどのような作品を作るかを話し合いました。その後、雪嶺会・北薬会・丁酉会学生生活助成を頂き、部の予算と助成金を合わせ、過去最大規模のジオラマを作ることが決まりました。しかし、北海道モデラーズエキシビションが 10 月開催になったことにより、9 月末に行われる稲峰祭の翌週が北海道モデラーズエキシビションとなり、夏休みはそれぞれ準備を同時に行うなど、時間に追われる日々が続きました。稲峰祭では北大プラモ部さんと模型を創る会さんをお呼びして合同の展示会を行うため、稲峰祭のための作品作りも出品するジオラマと同時に作業を行っていました。北海道モデラーズエキシビション開催の前日まで時間いっぱい準備に費やし、無事完成させることができました。そのかいもあり、過去最大の規模で、尚且つ過去最大のクオリティを出すことが出来たと自負しています。北海道モデラーズエキシビション当日、会場の中でも最大規模のジオラマであり、多くの注目を集めました。会場には様々な団体が集まっていますが、そのほとんどが社会人サークルであり学生も所属している社会人サークルもあるものの、学生だけの団体は北海道科学大学模型部・北海道大学プラモ部・北海学園大学模型同好会の 3 つです。そのような中で過去に独特賞を 2 年も連続でもらえたのはとても名誉なことであることを再認識しました。多くの人が作品を見に来てくれましたが、結果は惜しくも受賞を逃すこととなってしまいました。今まではジオラマを作るだけでも注目を受けていましたが、年々ジオラマを作る団体が増えたこと

が要因として考えられました。やはり、社会人サークルの方々の方が模型づくりの経験が多く、クオリティの高い作品が多くなっています。しかし、個人的には悔しいものの限られた予算の中でベストを尽くすことができたので、悔いはありません。今年賞を逃したのなら、来年また賞を狙うことを目標とし、努力を続けます。また他の団体の作品をよく観察し、模型づくりの技術を学ぶことも大切です。北海道モデラーズエキシビションでは、ガンブラ国内大会で準優勝に輝いた作品なども展示されているため、見ていてとても模型作りの参考になります。上手い作品から、どのような技術が使われているのかを学ぶこともこの北海道モデラーズエキシビションに参加する目的でもあります。そのため、部員には必ず他の団体の作品を見て回ることを心がけさせています。特に、社会人サークルが作ったジオラマ作品は細かいところまで手が込んでおり、非常に参考になりました。

北海道モデラーズエキシビションから得た収穫は技術だけではありません。出品したジオラマ作品は賞を得るには至りませんでしたが、大きな反響を得ました。ジオラマを撮影する人がおおく、撮影した写真を Twitter にはアップしている人もいました。また、北海道新聞電子版では、北海道モデラーズエキシビション特集した記事の映像として出品したジオラマが撮影されました(<https://www.hokkaido-np.co.jp/sp/movies/detail/5846182880001>)。また、お笑い芸人のパンクブーブー佐藤さんが部長として活動している吉本プラモデル部の YouTube チャンネルである吉本プラモデル部チャンネルの動画にて、同じく出品したジオラマを動画紹介していただきました(https://www.youtube.com/watch?v=jKhKZfl_njw)。短い時間ではありますが、これはよい宣伝になったと思います。

今年は惜しくも賞を逃したものの、かなりの反響を得ることができたので、良かったとおもいます。今後は来年の受賞を目標とし、努力を続けようと思います。

